

04・窓ガラスが真っ白になるまでガチ搾乳プレイでイかせまくる

SE1 部屋の環境音

【最初から最後まで流す】

【繰り返して流す】

【トラック終了まで流し続ける】

【0—5秒ほど流して『結月』のセリフ】

▲ボイス加工あり

※フェードインするように聞こえ始める

●後ろ向き 左 0センチ

■部屋の窓際に手をつき、乳首をねっとり愛撫され、乳首で絶頂しそうになっている。

主人公が結月の右肩側から頭を出し、右耳にささやきかけるように愛撫して来る。

結月の『病』とは『ストレスにより『母乳のようなもの』が出るようになってしまった。これを気に病むうちに精神的にも参ってしまい、倒れた』というもの。

しかしこれはあくまで『母乳のようなもの』なので、実際の母乳とは違う色だったり、濃さだったり、量だったり、出方だったりする。

『母乳のようなもの』は、結月が性的快感を得るとこぼれ、絶頂すると大量に噴射される。

これを聞いた主人公は『つまり、思いっきり母乳を出させればストレス解消になり、治療につながるのではないか』と判断した。

なので結月は、思いっきり乳首を犯される運びとなっている

「【※マークまで、甘オホ喘ぎをする。

とても低く、物凄く気持ちよさそうに喘ぐ。

一行ごとに少し間があく感じで※

『気持ちよすぎて、本来の自分ならとても出さないような声が漏れてしまっている』という感じで」

“おっ………♡

“おっ。

「この行だけ、ほんの少しだけ高くなる。

次の行からまた元に戻る」

“お♡

“お“おっ………♡

“おっ♡

“お“お“お“おおおっ………♡

■母乳が出そう、絶頂しそう

言葉では嫌がっているようだが、実際はノリノリ。

『ずっと主人公にしてほしかった事を、ついにももらえる』という気分。だが、素直に言うのはどうしてもできない。

なので、嫌がっている、困っているふりをしている

【とても低いが、とても気持ちよさそうに、悲鳴のように喘ぐ。

困ったようなふりを装って、抵抗のそふりをしているが、実際は全く抵抗していない。

『出る』Ⅱ『母乳のようなものが出る』。

赤文字部分で絶頂する】

“あゝ……♡”

まあああ出えるっ♡

出えるうかあらあ♡

“おっ♡”

“お♡”

SE2 結月の乳首から母乳が噴射する音1

【最初から最後まで流す】

【3回繰り返し流す】

【やや大きめの音量で流す】

【次の『結月』のセリフと同時に流す】

●後ろ向き 左 0センチ

「〃お〃お〃お〃お〃お〃おつ……
〃おーっ……♡♡

【※16回※ かなり早く、気持ちよさそうに呼吸する。

だんだんゆっくり、少し落ち着いていく】

はーひゅうつ、はーひゅうつ、はーひゅうつ、はーひゅうつ ♡
はーひゅうつ、はーひゅうつ、はーひゅうつ、はーひゅうつ ♡

【ひとときわ気持ちよさそうに喘ぐ】

“あー……。

【本音が漏れる。『凄く気持ちいい』という意味で言っている】

すご……凄いいっ……♡ ※

●後ろ向き 左 0センチ 正面0センチ

■頭だけ主人公の方を向けてキスする

【※振り向いて、顔だけ主人公の正面に向ける。
顔を引き寄せられ、キスされる。

少し驚いて。顔を引き寄せられたので」

あ♡

【※しばらく※ キスする。

主人公に、一方的に唇にキスされる」

ん♡ ん♡ ん♡ ん♡ ん♡

ん♡ ん♡ ん♡ ん♡ ん♡

【少し大げさに音を立てて唇を離す】

ふはっ……♡

【あまあまに抗議する。

言葉では怒っているようだが、実際は全く怒っていないのが伝わる感じで】

もお、ひ、酷いっ♡

さつきからずとっ♡

ずっとおっぱいばかりい♡」

〈主人公〉

「……だって、いっぱい出て困ってるんでしょ？」

「※しばらく※ キスする。

一行ごとに少し間があく感じで。

苦しそうな、濃厚なキス。主人公に、一方的に唇にキスされている」

んっ♡

んっ♡ んんっ♡

んんんんっ♡ んっ♡

んっふ……ちゅ♡

ちゅっ♡ ちゅっ♡ ちゅっ♡

ちゅぷぷっ……ちゅ♡ くちゅるぷ……ぷちゅっ♡

ちゅっ♡ ちゅっ♡ ちゅっ♡ ちゅっ♡ ちゅっ♡

【※息遣いのみ※】で表現する。ここで唇が離れる」
はあぁっ……。

【※1回※】キスする。

一度病んだかと思ったら、またされるキス」
んっ♡

〈主人公〉

「ていうか『頑張る』んでしょ？ ほくら♡ 頑張れ♡」

●後ろ向き 左 0センチ

■再び、主人公が結月の右片側から頭を出し、右耳にささやきかける状態に戻る

「【※マークまで、甘オホ喘ぎをする。

とても低く、物凄く気持ちよさそうに喘ぐ。

とてもゆっくり、一行ごとに間があく感じで※

『気持ちよすぎて、本来の自分ならとても出さないような声が漏れてしまっている』という感じで」

“あ” “あ”
♡

“あ” “あ”
♡

“あ” “あ”
♡

“あ” “あ”
♡

“あ” “あ”
♡

「あまあまに抗議する。

少し早口気味に。

言葉では嫌がっているようだが、実際は全く怒っていないのが伝わる感じで」
またそうやっておっぱい触るっ♡

“あ”
♥

“あ”
♥

“あ”
♥

“あゝ……”
♥

■乳首での絶頂が近づく。

結月は先程（音声にはなっていない、本編トラック03と04のはざま）、初めて乳首での絶頂を経験した。もとよりクリトリスでの絶頂しか知らなかった結月だが、それに匹敵する、いや、それ以上の快感に驚いている。

そしてあつという間に乳首イキの快感に夢中になり、まるで抵抗できないどころか、積極的に望むようになってしまっている。

「とても低く、物凄く気持ちよさそうに訴える。

『また母乳が出る、また母乳を出しながら絶頂してしまう』という意味で言っている」
出えるう……♥

また出ちやうからあ……♥」

SE3 結月の乳首から母乳が噴射する音2

【最初から最後まで流す】

【2回繰り返し流す】

【やや大きめの音量で流す】

【次の『結月』のセリフと同時に流す】

●後ろ向き 左 0センチ

「//あゝ……っ♡」

SE 4 結月の乳首から母乳が噴射する音3

【最初から最後まで流す】

【SE 4、5、6は連続で流す】

【やや大きめの音量で流す】

【次の『結月』のセリフと同時に流す】

SE 5 結月の乳首から母乳が噴射する音4

【最初から最後まで流す】

【SE 4、5、6は連続で流す】

【やや大きめの音量で流す】

【次の『結月』のセリフと同時に流す】

S E 6 結月の乳首から母乳が噴射する音5

【最初から最後まで流す】

【S E 4、5、6は連続で流す】

【やや大きめの音量で流す】

【次の『結月』のセリフと同時に流す】

●後ろ向き 左 0センチ

■乳首で絶頂する

「【とても低く、ひときわ気持ちよさそうな声で絶頂する。

赤文字部分で絶頂する】

“あ
♡

”あ “あ “あ “あゝ……っ♡ “※

●後ろ向き 左 0センチ→正面 0センチ

■頭だけ主人公の方を向けてキスする

「【※振り向いて、顔だけ主人公の正面に向ける。顔を引き寄せられ、キスされる。

※6回※ キスする。

自分からも求めて、夢中でキスする】

んっ♡ んー♡ んんんう♡
んー♡ んー♡ んーっ……♡

【※9回※ かなり早く、甘ったるく、気持ちよさそうに呼吸する。

だんだんゆっくり、少し落ち着いていく】

はーっ♡ はーっ♡ はーっ♡ はーっ♡

はーっ……♡ はーっ……♡ はーっ……♡ はーっ……♡

はあああ……♡

【高く、びくっと小さく喘ぐ。

主人公に特に何かされたわけではないが、小さな刺激でも敏感に反応している感じで】
あ♡」

〈主人公〉

「どう？ 少しは楽になった？」

● 正面 0センチ

■ 頭だけ主人公の方を向けてキスする

「【※息遣いのみ※ で表現する。

あまあまに悔しそうに、何か言いたげな様子で】

っ……♡

【※9回※ キスする。

あまあまな、自分からも求める積極的なキス】

ん♡ ん♡ くちゅっ♡

ちゅるっ♡ ちゅるるるっ……♡

ちゅっ♡ ちゅっ♡ ちゅっ♡ ちゅっ♡

【※息遣いのみ※ で表現する。

あまあまに、うっとり息を漏らす】

はあぁっ……♡

■攻める時は容赦なくガン攻め、かわいがる時は徹底的に、そして気遣いは絶対に忘れないという、主人公の緩急の付いた自分好みのセックスにメロメロ。

むろんこれは仮想空間にいる事による『バフ』の恩恵が大きい。

だが、結月には『絶対にそれだけではない。主人公にはもとより絶対にセックスの才能があった』という確信がある。全く何一つ根拠はないが、絶対にそうだと思っている。

『理想的すぎてやばい、どうしよう』『ますます好きになっちゃう』という気分【とてもかわいく、恨めしそうに。

※特に聞き手をドキッとさせるイメージで※】

そうやってえ……急に優しい声出すのずるい……♡「

主人公

「優しいよ？
ずっと」

●正面 0センチ

【弱々しく聞き返す】

え
え
:
:
:
:
?

【※※】9回【※※】
キスする。

一行ごとに少し間があく感じで。

苦しそうな、濃厚なキス。主人公に、一方的に唇にキスされている】

h

あ♡

ん
っ
く
…
…
ん
ん
ん
ん
う
っ
♡

ん
ー
♡
ん
ー
♡
ん
ー
♡
ん
ん
っ
ぷ
♡

【※息遣いのみ※】で表現する。

唇を離して、あまあまに息継する】

ふはあつ
……♡

【高く甘つたるい声で。

『ずっと優しい？ それ、本気で言ってるの？』という感じで
『ずっと優しい』い？

【少し間をあけてから。

高く甘ったるい声で、少し早口気味に。

途端に弱々しく。

反射的に否定しようとはしたものの、すぐに『よく考えなくてもその通りだ』と気づいてしまったので」

……まあそれは♡ そおなんだけど♡

確かにそうではあるっ♡ けど♡

……でもお♡

■先ほどから続く濃厚乳首責めセックスについて述べる。

これをする主人公は、どう考えても治療目的だけではない。

Sっ気を開花させて楽しんでいるし、自分の反応を面白がっているようにしか見えないので

【高く甘ったるい声で、あまあまに抗議する】

……これ！♡

絶対楽しんでるでしょ……!!♡

貴方これ絶対♡

自分が面白いから、してるっ、でしょお……!! ♡

〈主人公〉

「人聞き悪すぎ。」

私はこんなにゆづの事を愛してるのに」

● 正面 0センチ

「高く甘ったるい声で反論する。」

言葉では怒っているようだが、イチヤイチヤじやれているようにしか聞こえない感じで」

嘘 ♡ 嘘 ♡

絶対うそ ♡

そんなんで私っ、丸め込まれないからねっ ♡

〈主人公〉

「丸め込む？」

● 正面 0センチ

「高く甘ったるい声で反論する。」

引き続き、言葉では怒っているようだが、イチヤイチヤじゃれているようにしか聞こえない感じで」

『愛してる』とか言って♡

完全につ……♡ 遊んでるでしょお……!?!♡

■言葉の途中で、再び乳首を愛撫され始める

「『そうやって人の事からかって遊ぶの楽しい?』と言いかけたところで途切れる。乳首への愛撫が再開されたので。

低く、かわいく、びくつと喘ぐ」

そうやって人の事からかって遊ぶの楽し、

うあ!?!♡」

〈主人公〉

「愛してるよ?

私はさ? ゆづの身体が変なのを治したくてこうしてるんだから」

●正面 0センチ 後ろ向き 左 0センチ

■主人公の左肩に頭を乗せ、のけぞるような姿勢で愛撫を受け入れる

「【※マークまで、低く、かわいく、びくつと濁音喘ぎする。

一行ごとに少し間があく感じで。

『甘オホ』よりも一段階ゆるやかな、一段階余裕のある感じの喘ぎ。

『ものすごく気持ちいいが、今にもイきそう、イクという感じではない』という段階

うあ♡

“あ……♡

“あ♡

“あ♡

“あ♡ ※

【高く甘ったるい声で懇願する。

言葉ではやめてほしそうにしているが、実際は『もっと、もっとしてほしい』と言って
いるようにしか聞こえない感じで】

くりくりしないでえ……♡

その触り方、ほんとつ。ダメだからっ……♡」

〈主人公〉

「やだ。信じてもらえないならやめない。
ずっと、ずっとやる」

●後ろ向き 左 0センチ

「低く、びくっと、かわいく喘ぐ」
くあ♡

【か細い声で懇願する】
引っ張るのも駄目♡

【ひとときわ気持ちよさそうに、低く、びくっと、かわいく喘ぐ】
“あゝ……♡

【高く甘ったるい声で喘ぐ】

あ♡ あ♡ あっ♡

あ♡ あっ♡ あ♡

……あ♡ あ♡ あゝ……♡

【ものすごく気持ちよさそうに。

高く甘ったるい声で懇願する。少し早口気味に】

信じる♡ 信じるから♡ 信じるからやめて♡

やめてやめてほんとやめて♡

【ひとときわ気持ちよさそうに、低く、びくっと、かわいく喘ぐ】
“あゝ……♡

【ものすごく気持ちよさそうに。

高く甘ったるい声で懇願する。少し早口気味に】

押すのもだめ♡

転がすのもだめ♡

駄目♡ 駄目♡ だめ♡

やめっ…てえ♡

【低く、びくっと、かわいく喘ぐ】

“あ♡ あ♡”

SE7 結月の乳首から母乳が噴射する音6

【最初から最後まで流す】

【やや大きめの音量で流す】

【次の『結月』のセリフと同時に流す】

●後ろ向き 左 0センチ

「“あゝ…♡”

【※6回※ 鼻で呼吸する。

物凄く気持ちいいのを、必死にこらえるような鼻呼吸】

ふーっ♡ ふーっ♡ ふーっ♡

ふーっ ♡ ふーっ ♡ ふーっ …… ♡

【とても低く、物凄く気持ちよさそうに喘ぐ。

特に感じる触り方をされたので】

“あ” “あ” “あ” “あ” …… ♡

【とても低く、うわごとのように。

少し早口気味に。

『これ気持ちいいの』『気持ちいいの』と言おうとしてすべての音が濁る】

これ気持ちいいの ♡

気持ちいいの。

気持ちいいのお …… ♡

■再び、乳首での絶頂が近づく。この短時間で、完全に『イキ癖』をつけられている

【低く、ゆっくり喘ぐ】

“あ” “あ” ♡

【高く、びくっと喘ぐ】

あっ ♡

【低く、ゆっくり喘ぐ】

“あ” “あ” “あ” …… ♡

“あ” “あ” ♡ “あ” ♡

“あゝ……っ♡

■乳首で絶頂しそうゝ絶頂する

「「うわごとのように、言葉でだけ抵抗する。

また母乳が出そうになっている事を訴えるが、本当は出る事を期待している」

やだあ……♡

出えるう♡ 出えるうかあらあ♡」

SE 8 結月の乳首から母乳が噴射する音7

【最初から最後まで流す】

【やや大きめの音量で流す】

【4回繰り返して流す】

【次の『結月』のセリフと同時に流す】

●後ろ向き 左 0センチ

「「とても低く、ひときわ気持ちよさそうな声で絶頂する。

赤文字部分で絶頂する」

“あゝ♡♡ “あゝ……♡♡

“あ “あ “あ “あゝ……♡

【※16回※　かなり早く、気持ちよさそうに呼吸する。

だんだんゆっくり、少し落ち着いていく】

はーひゅうつ、はーひゅうつ、はーひゅうつ、はーひゅうつ　♥

はーひゅうつ、はーひゅうつ、はーひゅうつ、はーひゅうつ　♥

【低い、喘ぎとうなりの中心のような声で】

“あゝ……”　♥

【とても低く、甘ったるい声で、独り言のように】

もう気持ちいいのやだあ……　♥

イクのやだあ　♥

■また、乳首への愛撫が再開されるゝすぐに絶頂する

【低く、びくつと喘ぐ。

『やだ』と言いながらも、再開されると嬉しそう、期待したような声が出る】

“あ”　♥

【※マークまで、甘オホ喘ぎをする。

とても低く、物凄く気持ちよさそうに喘ぐ。

一行ごとに少し間があく感じで※

『気持ちよすぎて、本来の自分ならとても出さないような声が漏れてしまっている』という感じで】

“あ ♡

“あっ “あっ “あっ “あっ “あ ♡

【特に低い声で喘ぐ】

“あ ♡

“あっ “あっ “あっ “あっ “あ ♡
”

SE 9 結月の乳首から母乳が噴射する音 8

【最初から最後まで流す】

【やや大きめの音量で流す】

【3回繰り返して流す】

【次の『結月』のセリフと同時に流す】

● 後ろ向き 左 0センチ

「【とても低く、ひとときわ気持ちよさそうな声で絶頂する。

先ほどの絶頂からほとんど間をあげず、あっさりいく。

赤文字部分で絶頂する】

“あ ♡

ああゝ…… ♡
”

〈主人公〉

「あ、そうだ。また話途中になってたね。

私は、ゆづを治したい」

●後ろ向き 左 0センチ

■絶頂したてにもかかわらず主人公が愛撫をやめない。

さらにその上、普通に会話を始めてきて混乱する。

そしてまたすぐ、あっさり絶頂する

「【とても低く、物凄く気持ちよさそうに喘ぐ。

普通の言葉で返事をしようとして失敗し、喘ぎ声になる】

“あ
♡

“あ “あ “あ ……？
♡

“あっ
♡ “あ
♡

“あ “あ “あ “あ ……
♡

SE10 結月の乳首から母乳が噴射する音9

【最初から最後まで流す】

【やや大きめの音量で流す】

【次の『結月』のセリフと同時に流す】

● 後ろ向き 左 0センチ

「小さくびくつと。」

ひとときわ気持ちよさそうな声で絶頂する。

先ほどの絶頂からほとんど間をあげず、あっさりいく。
赤文字部分で絶頂する」

あああああ……っ♥「※

〈主人公〉

「だから、そのために全力で色々するし、優しく心配する。
治療中、この両方が同時にあるのは当然じゃない？」

● 後ろ向き 左 0センチ

「【※16回※ かなり早く、気持ちよさそうに呼吸する。
だんだんゆっくり、少し落ち着いていく】

ふーはあ、ふーはあ、ふーはあ、ふーはあっ♥

ふーはあ……っ♥ ふーはあ……っ♥ ふーはあ……っ♥ ふーはあ……っ♥

【※マークまで、息も絶え絶えに、すごく苦しそうに話す。

何とか呼吸を整えて、会話しようとする。

気持ちよすぎてぐったりとした、脱力気味の声。

息が上がりすぎていて、とぎれとぎれに話す】

……そ。おだけど♥

思いつき……っ♥ してくれなきや♥

治んないって理屈はわかるっ♥ わかるし♥

そもそもこうしろって言ったのは私っ。私だけとお♥ ※

■また、乳首への愛撫が再開される

【濁音喘ぎの中に、比較的高くなったり、低くなったりするのを交互に繰り返して喘ぐ。一行ごとに少し間があく感じで。

『♥』が高く『。』が低い】

“あ♥

“あ。

“あ♥

“あ。

“あ♥

【非常に狼狽して早口気味に。

『信じられない』という感じで。もう、また絶頂して、母乳が出てしまいそうなので】

あああああ嘘っ♥ また出るっ♥ また出るう♥

また出ちやうからああ♥

出えるうのお♥

■両胸をしっかり包むようにして下から持たれ、その上で乳首を愛撫される。

主人公が、窓に母乳をかけようとしている事を理解する

【あまあまに、早口で必死に懇願する。

言葉では嫌がっているが、明らかに激しく興奮して。

『胸を絞るように持って固定して、母乳が噴射した時に窓にかけようとしているでしょう。やめて!』と言いたい】

お乳持っちゃやだ♥

かかるっかかるっかかるっ窓っ♥

かかるからああ♥」

〈主人公〉

「んゝ？ かけてんだよ？」

SE10 結月の乳首から母乳が噴射する音9

【最初から最後まで流す】

【やや大きめの音量で流す】

【次の『結月』のセリフと同時に流す】

●後ろ向き 左 0センチ

■母乳を窓にかけながら、思いっきり絶頂する

「物凄く気持ちよさそうに。

低く、長い喘ぎ声で絶頂する。

赤文字部分で絶頂する」

「あゝゝ……♡♡」

〈主人公〉

「ほら、窓に『ゆづ』って書いてみた。見てみて」

●後ろ向き 左 0センチ

■窓にかけられた母乳を呆然と見ながら、またすぐに思いっきり絶頂する

「低い、喘ぎとうなりの中心のような声で。」

激しく興奮した様子で。

目の前の光景に呆然としつつ、それがとにかく扇情的で興奮するので」

「あ」「あ」「あ」「あ……」

あ……♡ あ♡ あ♡

SE11 結月の乳首から母乳が噴射する音10

【最初から最後まで流す】

【やや大きめの音量で流す】

【次の『結月』のセリフと同時に流す】

●後ろ向き 左 0センチ

「物凄く気持ちよさそうに。

低く、長い喘ぎ声で絶頂する。

赤文字部分で絶頂する」

「あ……♡♡」

〈主人公〉

「あ、字い消えちゃった」

●後ろ向き 左 0センチ

「※19回※ かなり早く、苦しそうに呼吸する。

もう息も絶え絶えだが、それより気持ちいい事に抗えないという感じで。

だんだんゆっくり、少し落ち着いていく」

はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ、はあっ ♡

はし、はし、はあ。

はし、はし、はしっ ♡

ふーっ ♡ ふーっ ♡ ふーっ…… ♡

ふーっ…… ♡ ふーっ…… ♡ ふーっ…… ♡ ふーっ…… ♡

●後ろ向き 左 0センチ→正面 0センチ

「※ぐるんと一気に振り向く※

高い声で、物凄く甘ったるく、あまあまに抗議する。

どんどんヒートアップしていくが、主人公は何も言っていないので『自分の発言に自分で興奮している』『もっとドキドキするために、わざとこのような言葉を選んでいる』という感じで」

……つとに ♡

『ゆづって書いたよ』じゃないいっ♡

人のおっぱいで文字書くとか、最低っ……♡

やっぱ絶対遊んでるう♡

酷い酷い酷いっ♡

最低♡ 貴方最低ほんと最低♡

■再び愛撫される

【びくつと低く喘ぐ。

さらに何かを言おうとしたのを、遮られた形になる】

うゝあ♡

●正面 0センチ 後ろ向き 左 0センチ

【※不可抗力という感じで後ろ向きの姿勢に戻る。

低く、とても小さく喘ぐ。

一行ごとに少し間があく感じで】

ゝあ♡

ゝあ♡

ゝあ♡

……ゝあ♡
「

SE12 結月の乳首から母乳が噴射する音11

【最初から最後まで流す】

【やや大きめの音量で流す】

【次の『結月』のセリフと同時に流す】

●正面 0センチ→後ろ向き 左 0センチ

■絶頂が近づくと絶頂する

「小さくびくと。」

ひとときわ気持ちよさそうな声で絶頂する。

先ほどの絶頂からほとんど間をあげず、あっさりいく。

赤文字部分で絶頂する」

“あゝ……っ ♡

“あゝ……っ ♡

“あ”あ”あ”あ”あ”あ ♡

〈主人公〉

「窓、真っ白になっちゃったね。

……おっと」

●後ろ向き 左 0センチ

「小さく、うわごとのように喘ぐ」

あ、あ、あ。

ああ……♡ あああああ……♡

【※17回※】ぐったりと、物凄く気持ちよさそうに呼吸する。
すでにかなり疲れている感じで」

はーっ♡ はーっ♡ はーっ♡ はーっ♡

はーっ♡ はーっ♡ はーっ♡ はーっ♡

はあああ……っ♡

はーふうっ、はーふうっ、はーふうっ、はーふうっ♡

【※1回※】キスする。軽く触れるだけのキス」

ちゅ♡

■主人公に無言で『右腕をあげるように』と促され

●後ろ向き 左 0センチ 左 0センチ 下 15センチ

【※くるっと動く※】

不思議そうにしつつも、素直に従う」

ん……？♡ 腕上げるの？ こう？

■主人公が右腕を下からくぐる形で、結月の胸に顔をうずめる
「虚をつかれて。主人公が何が始めるのかよくわからない」
うえ……？

S E 追加 主人公が結月の乳首を吸う音

【最初から最後まで流す】

【繰り返し流す】

【やや大きめの音量で流す】

【次の『結月』のセリフと同時に流す】

【▲追加 でフェードアウトする】

■主人公が、結月の乳首を吸い始める。

吸われて驚くほど気持ちいい！絶頂する

【小さく、可愛くびくっと喘ぐ。

一行ごとに少し間があく感じで。

段々濁音喘ぎになっていく！

んっ

あ

……や♥

やああ、〃あゝ……♥

あ♥ あ♥ 〃あ♥

〃あ 〃あ 〃あ♥

〃あ♥ 〃あ♥ 〃あ♥

あああああ♥

【※マークまで、高い声でかわいく、うわごとのように。

だんだん早口気味になる。

また余裕がなくなっていく。

もう、口先で抵抗する元気もなくなってきたので】

待ってえ……？♥

待って。これ。これ気持ちいいから……♥

気持ちいいからやだあ♥

【※12回※ 早く、荒く、物凄く気持ちよさそうに呼吸する。
すでにかなり疲れている感じで】

はーっ、はーっ♥ はーっ♥ はーっ♥ はーっ♥

はーっ、はーっ♥ はーっ♥ はーっ♥ はーっ♥

はーっ、はーっ♥ はーっ♥ はーっ♥ はーっ♥

■ 絶頂が近づくと絶頂する

ああうっ……♡

ああ……吸うのやだ吸うのやだ吸うのやだ♡

それ出ちやうう、それ出ちやうそれ出ちやうううう♡
」

SE13 結月の乳首から母乳が噴射する音12

【最初から最後まで流す】

【やや大きめの音量で流す】

【2回繰り返して流す】

【次の『結月』のセリフと同時に流す】

● 後ろ向き 左 0センチ 左 0センチ 下 15センチ

「とても低い声で、大きくびくつと震える。

ひときわ気持ちよさそうな声で絶頂する。

赤文字部分で絶頂する」

“あ……♡

出る。出るっ。出る出る出るうううっ……♡
」※

▲追加　ここでS E追加がストップする

〈主人公〉

「ねえ。これが、ゆづのしてみたい事なんだ？」

●左　0センチ　下　15センチ

「【※8回※　早く、荒く、物凄く気持ちよさそうに呼吸する。
すでにかなり疲れている感じで】

はーふうっ、はーふうっ、はーふうっ、はーふうっ　♥

【虚をつかれて。主人公が何を言いたいのか、よくわからない】
うえ？　♥　」

〈主人公〉

「ゆづって、こういうのが好きなの？」

こんな雑におっぱい弄られて、無理やり触られて気持ち良くなるのが好きだったの？
私の幼馴染って、そういう変態だったの？」

● 左 0センチ 下 15センチ

■ 完全に凶星の指摘を受けて、うろたえる。

今更隠すのは無理だとわかってているが、やはり恥ずかしい。素直に認めないと治療を進められないのに、なかなかできない

「【ものすごく恥ずかしそうに、言葉を詰まらせる】

……っ

あ……っ

〈主人公〉

「ね。教えてよ。でなきゃまた同じのするよ？
ていうか、答えるまでずっとする」

● 左 0センチ 下 15センチ

「【※6回※ 呼吸する。

苦しそうというよりは、興奮しているという感じの呼吸】

はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ、はあっ……

【ものすごく恥ずかしそうに、かわいくなる】

うう……。ううう……」

〈主人公〉

「ねえ。答える？♥」

● 左 0センチ 下 15センチ

■ とうとう認める。

『自分は主人公に無理やり好きなように犯されたいと夢見ていたし、そんな空想をしながらオナニーしていた』と告白する。

ものすごく恥ずかしい一方で『打ち明けてスッキリした』という不思議な高揚感がある
「観念して、かわいく認める。

だんだん泣きそうなの、でも興奮しているような、余裕のない声になっていく。
一行ごとに少し間があく感じで」

……うんっ♥

……そおなの♥

私っ♥ こんなのが好きなのお。

ごめんね♥ 私ずっと貴方にこういう♥

勝手に好きなようにされるのしてほしくてえ♥

ずっと。ずっとそういう妄想して♡

一人でしてたのおっ……♡

■『自分の異常性』について、興奮と恥ずかしさでぐちゃぐちゃになりながら訴える。

『こうなったら、もう全部話してスッキリしてしまいたい』という、やけくそな気持ち

「ね」え♡

こんなに乳首っ♡ 触られるの好きでごめんなさい♡

だってここ♡

おっぱい出すとこなのに。

赤ちゃんの為のとなのに♡

赤ちゃんとか関係なく気持ちくなって♡

ほんとにほんとにごめんなさい♡

■絶頂が近づくと絶頂する。

告白する間にも主人公が乳首を吸ったり、引っ張ったりしてくるので

【低い声で、びくびくっと喘ぎながら話す。

もうまるで余裕がなく、訳が分からないという感じで】

あっ♡ またひっ♡ ばったらっ♡

出るうっ♡

出ちやうからあ♡」

SE14 結月の乳首から母乳が噴射する音13

【最初から最後まで流す】

【やや大きめの音量で流す】

【SE14，15，16は連続で流す】

【次の『結月』のセリフと同時に流す】

SE15 結月の乳首から母乳が噴射する音14

【最初から最後まで流す】

【やや大きめの音量で流す】

【SE14，15，16は連続で流す】

【次の『結月』のセリフと同時に流す】

SE16 結月の乳首から母乳が噴射する音15

【最初から最後まで流す】

【やや大きめの音量で流す】

【SE14，15，16は連続で流す】

【次の『結月』のセリフと同時に流す】

● 左 0センチ 下 15センチ

「“あ”“あ”“あ”“あ”“あ”“あ”……」

“あ”。

“あ”。“あ”。

“あ”……

「とても低い声で、大きくびくと震える。
ひとときわ気持ちよさそうな声で絶頂する。
赤文字部分で絶頂する」

“あ”……

〈主人公〉

「おかしくないよ。」

自分の身体なんだから、自分の好きに使いな？」

● 左 0センチ 下 15センチ

「“かわいく、泣きそうな声で。”

主人公の気持ちは嬉しいが、承服しかねるという感じで」

うううう…

そお、なのかなあ

自分の身体だからっ、いいのっ、かなあ…？
「

SE17 結月の乳首から母乳が噴射する音16

【最初から最後まで流す】

【やや大きめの音量で流す】

【2回繰り返して流す】

【次の『結月』のセリフと同時に流す】

●左 0センチ 下 15センチ

「【とても低い声で、大きくびくつと震える。

ひとときわ気持ちよさそうな声で絶頂する。

赤文字部分で絶頂する】

〃あゝ…

【低い声で、びくびくつと喘ぎながら話す。

もうまるで余裕がなく、訳が分からないという感じで。

濁音だらけになる。『好き』もここは『ずぎ』になる】

ぎもちいい。

ぎもちいいぎもちいいぎもちいいっ♡

わ、だじ。変態でごめんなさい♡

おがされるのが好きで♡ おっぱいいじられるのが好き（ずぎ）でごべんなざい♡

●左 0センチ 下 15センチ♡正面 0センチ

■頭だけ主人公の方を向けてキスする

【※振り向いて、顔だけ主人公の正面に向ける。顔を引き寄せられ、キスされる。

※しばらく※ キスする。

一方的に激しく、濃厚にキスされる】

んっ♡ んっ♡ んっ♡ んんんん…♡

んっ♡ ちゅっ♡ んっ♡ んんんうっ♡

ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅっ♡

【とても低い声で、大きくびくつと震える】

“あ♡

【余裕なく早口気味に】

出る♡

また出る出る出る出るっ♡

出しますっ♡」

SE18 結月の乳首から母乳が噴射する音17

【最初から最後まで流す】

【やや大きめの音量で流す】

【3回繰り返して流す】

【次の『結月』のセリフと同時に流す】

●左 0センチ 下 15センチ→正面 0センチ

「【ひときわ気持ちよさそうな声で絶頂する。

赤文字部分で絶頂する】

う “ あ ♡

“ あ “ あ “ あ …… ♡ ”

●正面 0センチ

「【※9回※ 呼吸する。

苦しそうというよりは、興奮しているという感じの呼吸】

はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ、はあ。

はあ……はあ……はあっ♥

【息も絶え絶えで苦しそうにしつつも『これだけは言いたい』という感じで切り出す】

……ねえ♥ 私ね♥

ほんとの気持ち言うから聞いて……？♥

〈主人公〉

「……ん？」

●正面 0センチ

「【まるで余裕なく、ぐちゃぐちゃになりながら。

あまあまに、必死に訴える。

少し早口気味に、濁音交じりに。

『本当はもっと犯してほしいです。もっともっとめちゃくちやにして、私は貴方の立って思わせてほしいです』と言いたい】

……あのねっ。

ほんどはもっど♥ おがじでぼちいですっ♥

もっど♥ もっど滅茶苦茶にして♥

私は貴方のだって♥

思わぜでぼちいですっ♥

〈主人公〉

「……!♥」

●正面 0センチ

「まるで余裕なく、ぐちゃぐちゃになりながら。
あまあまに、必死に訴える。

少し早口気味に、濁音交じりに。

『本当はもっと犯してほしいです。もっともっとめちやくちやにして、私は貴方の立っ
て思わせてほしいです』とほしいたい」

だから、ね?♥

もっとしてえ♥

もっとおがじで♥

もっともっともっと全部♥

貴方のにして下さいいっ……♥

ここでフェードアウトして終了。

